

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 2 月 12 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104625		
法人名	有限会社 百樹		
事業所名	高齢者総合福祉施設 なだの郷 グループホーム		
所在地	〒 734-0053 広島市南区青崎2丁目16-15 (電話) 082-285-2787		
自己評価作成日	平成27年1月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104625-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年2月4日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>福祉ターミナルケアを実践しています、家族様の希望があれば当グループホームで最後まで過ごして頂き、医療や家族と連携をとり、協力しながら介護でのお手伝い出来る所を支援しています。温かい雰囲気、明るい職員がアピールポイントです。又お天気のいい時等は近所の公園に散歩に出かけて、近隣の方達とのコミュニケーションを取っています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は平成17年4月開設の、閑静な住宅街の中にあるグループホームである。近隣に小学校や幼稚園、保育園があり、子どもたちとの交流があるほか、近所には大きな公園があり、日常的に散歩に出かけることができる。近隣との交流もさかんであり、公民館で行われるふれあいサロンへの参加を積極的に行うなど、地域にとけこんだ運営がなされている事業所である。 また、ターミナルケアにも力を入れており、医療との連携のもと、実際に事業所のなかで看取りを行うなど、最期まで安心して入居できる施設である。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	基本理念 「福祉は人 人は心」を全職員が共有し、その意識を持って取り組んでおります。施設内研修の中でも新人職員にも教育しています。	事業所の基本理念である「福祉は人 人は心」実践・浸透させるため、管理者は目配り、手配り、気配り、記録のとり方など、日々の介助方法の指導を職員に対し積極的に行い、常に改善に取り込んでいる。また、朝の申し送りを法人全体として行うことにより、日々の振り返りが行われている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事、盆踊り、運動会、秋祭り等の行事等には参加、見学させて頂いています。地域の保育園、小学校の児童が施設に訪問しての交流があります。	事業所から徒歩圏内に公民館、小学校、保育園、幼稚園があり、盆踊りや運動会、祭り等へ、法人全体で積極的に参加している。また、子どもたちの事業所への訪問もあるなど、地域との交流が盛んになされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の相談窓口として、住民の方々の疑問に答えたり、介護保険の仕組みや認知症等についての関わり方などのアドバイスなどもさせて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	二か月に一回地域運営推進会議を開催し、現状報告やご家族、地域の方々、地域包括支援センターなどからの意見、質問などを頂き、サービス向上に努めております。	運営推進会議には家族の積極的な参加もあり、利用者にも声かけし、会議に参加することで意見を求めている。家族からの意見を反映し、口腔ケアを充実させるなど、サービス向上に向けた取組みがなされている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市・町とも連絡を取り、地域包括・近所の方々など、地域全体からの協力を頂きながら運営しています。	市の生活課や介護保険係、地域包括支援センターとの日頃からの交流や情報交換等が行われているなど、市との信頼関係構築に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	外部研修や施設内研修を定期的に行い、全職員が身体拘束とはどのような事を理解し何か気が付があれば、直ぐに報告するようにしております。	事業所内で勉強会を行うほか、外部の研修にも積極的に職員が参加しており、身体拘束防止に向けた取り組みが行われている。その結果、身体拘束は行われていない。また、利用者が徘徊等の行動をとる際は、一緒に職員が行動するなど、利用者本位に対応している。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	外部研修や施設内研修を定期的に行い、全職員がどのような行為が虐待行為に成るかを常々話し合いを持っています。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	施設内研修の中で制度・仕組み等の勉強会を開き、知識・支援の向上につなげています。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	相手様にわかり易く説明を行い入居者様やご家族様に不安や疑問が残らない様に努めております。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	「皆様の声」という意見箱を設けております、ご利用者様・ご家族様との会話の中での意見や要望なども参考にさせて頂き、向上につとめています。	利用者からの要望は日頃から聞き取っているほか、家族の面会時や運営推進会議等において、家族からの意見を聞きとる関係を構築している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>常日頃から職員の意見や提案に耳を傾けています、半年に一度、個人面談を行い、職員の思いの把握に努めております。</p>	<p>職員からの意見や提案は日頃から聴取しており、行事や業務改善の提案がある。その結果、職員を排泄班、水分班、掃除班というようにチームに分け、チームで運営に関する意見を集約し、反映させているほか、個人面談を行うことで職員の意見の把握に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>自己評価を定期的に行い、個人面談を行っています。それを生かしながら整備に努めています、各自目標を立てて職務に当たっています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>週に一度の管理者会議で管理者教育も行う個々に適した外部研修にも参加しステップアップにつなげております。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>グループホーム管理者同士で、交流を持ちケアマネジャーの講習・勉強会を行っています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>慣れない場所での不安を取り除ける様に、しっかりと関わりを持ち、笑顔で接して、落ち着いて頂ける事で信頼関係を築いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>最初に、わかりやすく説明を行い家族様とのお話にも納得して頂ける様に対応し、信頼関係を築ける様に努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>初期、事前に入った情報に加え、ご本人様を観察し、何が必要か、急を要するかを見極めて、ケアプランを立て、相談、対応に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>施設を自宅、職員が家族と思って安心して過ごして頂ける様、信頼関係を作っていくように努めています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様が、何時でも面会に来て頂きやすい環境づくりや家族様とのこまめに連絡を取り、意向を聞くなどの対応しております。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>近隣の公園等に散歩に出かけて、近隣の方達との関わりを大切にさせて頂くと共に、絶えず地域密着を念頭に置き対応しています。</p>	<p>本人の生活歴を家族から聞き取り、それまでの馴染みの人や家族との面会ができるように働きかけている。その結果、近所の人が事業所に会いに来てくれるなど、本人のそれまでの関係が途切れないような支援がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	絶えず職員は利用者様同士の関わりを観察しながら、孤立・トラブル等が無い様に、カンファレンスや会議を開き、トラブルの無い支援を行っています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族様との関わりを大切にしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お一人々のご利用者様に、各担当職員を決め、入居者様の把握に努め、身体状況・ご本人様の思いや状態に沿ってケアプランを立てて支援しています。	利用者の意向や思いを聞き取り、好きな食べ物の差し入れを家族に依頼している。思いを表出するのが難しい方は、本人の意向を汲み取ってケアプランに反映させ、職員も一人ひとりの思いを汲み取って、日々のケアに反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前から情報収集し、入所後は馴染みのある暮らしや、趣味活動が出来るように支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の生活の中での変化にいち早く気づき出来るように、目配り・気配りに心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>体調変化・介護度の変更時には、アセスメント・カンファレンスを行い、ケアプランの変更を行い、その人にプランに沿っているか、常時モニタリングをしています。</p>	<p>担当制を取り入れ、ケアマネジャーが作成するケアプランを毎日確認し、介護が行われている。個別の介護計画は職員の見意見を反映して日々見直されており、現状に即したものになされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>記録には、ご利用者様の状態・変化を記入し見直しの必要時にはプランの変更を行っています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>柔軟な支援が出来るように、多機能化に取り組んでおります。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域との関わりや行事には、参加させて頂く機会を多く作るように努めております。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>家族様との話し合いをおこない、適切な医療が受けられる様に支援しています。家族様との情報交換が多く持てるよう、常に心がけています。</p>	<p>協力医は2週間に1回往診があり、皮膚科などの専門科は原則家族に対応してもらいますが、家族が難しい場合は職員が対応している。入居時に診療に対する希望書を取り、それまでのかかりつけ医に継続受診を希望する場合は、家族対応で受診してもらおうなど、適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>情報をまとめて伝える看護師からのアドバイスや注意点なども、しっかりと聞き支援に生かしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先との連絡なども密に取り、お互いの情報交換を適切に行い、疑問点や注意点などの確認を随時行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>医療に加え、家族様とも連絡共有し、共通した目標をもとに、本人・家族の意向を大切に考え、全職員で取り組んでいます。</p>	<p>入居時に重度化した場合の対応について一通りの説明を行うほか、実際に重度化した場合は家族と医師とで話し合いの機会を持ってもらい、対応については話し合いを行っている。終末期については同意書を家族に求め、経過記録をつけて支援に取り組んでおり、実際に看取り事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>施設内研修を行い、マニュアルをもうけ、記録や事故防止委員会をを行い情報を共有しています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的な防災訓練や施設内研修を消防署にも訓練指導をして頂いています。</p>	<p>年に2回、昼間想定と夜間想定 of 訓練を定期的に行っているほか、事業所内の研修で緊急時の対応の勉強会を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言葉・対応の仕方等については研修を行い、職員間同士でも注意し合うようにしています。	トイレ介助時は、利用者の膝にタオルをかけることや、便の量などの申し送りは、利用者に聞こえないように配慮するなど、管理者の教育が徹底されている。また、利用者の前では利用者のプライバシーに関することは言わないように徹底するなど、プライバシー確保のための取り組みがなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	気配り・目配り・手配りで入居者様が言葉に出さない内面に気づき、表現が出来る様に又本人の意向を尊重出来る様に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員側のペースにならない様に、無理強いの無い、支援を心がけております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝の整容・衣類の乱れや汚れが無い配慮と気配りに心がけています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来るところは、一緒に行いながら、楽しく食事が出来る様に、席の配置や環境づくりに工夫等をしています。	隣接する法人の関連施設の食事と一緒に、全体厨房で食事が作られ、みそ汁などは温めなおして提供されている。また、一緒に軽食を作ったり、職員発案のおかき団子を利用者とともに作るなど、楽しんで食事をする事のできる工夫がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事の摂取量・水分量の把握を行い，十分に摂取が出来ない時には，食事の形態を変えたり，好みの食べ物を提供しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食事後の口腔清拭には各職員がつき，出来ない処は介助で対応しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>各自の排泄パターンを把握し，パット使用量を減らしトイレでの排泄を中心としております。</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握して，適切なトイレ誘導を行うことにより，テープで止めるタイプの紙おむつを使用していた利用者が，オムツを使用せず布パンツとパットの併用になるなど，排泄の自立支援に向けた取り組みがなされている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量の把握に努め，必要時には乳製品などの摂取，毎日の体操時には腹部マッサージ等を取り入れて，予防に取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日の設定はしていますが，ご利用者様の状態に合わせて，対応させて頂いています。</p>	<p>概ね週3回の入浴であり，午後から入浴している。利用者の状態に合わせて随時入浴を行ったり，入浴日を振り替えるなどして対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中の活動を中心とし、精神的な安定をはかり、夜間の睡眠がとれるように工夫しています、又適時お一人々体調を見ながら、休息時間を取り入れております。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>医療と連携を取り、疑問点はすぐに問い合わせアドバイスをもらいながら変化の観察等の支援しています、又職員一人々が、各自の服薬についても把握出来る様に勉強をしています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>それぞれの役割を見つけて、メリハリのある毎日を過ごして頂けるように、心掛けております。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気や本人様の体調に合わせて、毎日近隣の公園などに散歩に出かけて、近隣の方達との関わりながら、家族様とも連携し、本人様と意向に沿えるように支援させて頂いております。</p>	<p>午前中は公園など近所の散歩コースを散歩しているほか、お花見やドライブなどを企画したり、利用者の個別の希望に応じて散歩などの対応をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>それぞれに適した方法を見極めて支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>その時々の状態を見ながら、電話や、レターセットを準備して、手紙を書いて頂いたりしております。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある飾り物をご利用者様と一緒に作り飾っています。暖かい空間づくりを心掛けております。</p>	<p>共有空間には、飾り付けを利用者と一緒に作ることで、居心地の良い空間作りを心がけている。また、利用者同士の相性を考慮し、席を離すなどの対応や、ユニット間の移動を自由にして、利用者にはのびのびと過ごしてもらおうような工夫がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>座席の配慮を考え、その時々に合わせてレイアウトするなど、配慮しております。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時ご利用者様の思いのある物を持ってきて頂き、自室に置き、本人様の好みを尊重する様心掛けています。</p>	<p>管理者が整理整頓について目を配らせ、居室の中をきれいにしている。部屋の中には利用者の家族の写真を貼ったり、家族の作った手芸作品等を飾ることで、居心地よく過ごせる居室への配慮が行われている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>出来る処には手を出さず、本人様の難しい部分を支援しております。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 高齢者総合福祉施設なだの郷 クラブホーム

作成日 平成27年2月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	39	加齢に関係なく自分の好みの衣類でおしゃれが出来る。	利用者様の思いを大切に出来る。	お1人お1人に思いを聞き離床時共に選ぶ。	6ヶ月
2	41 44	加齢と共に水分摂取が難しくなって来る。	気持ちよく飲んで頂く。	お1人お1人にあわせての対応が出来るように好みの物の把握をする。	6ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。